

すずか倶楽部 中西 大輔 議員



- 1 行革アクションプランについて
- 2 地域医療について
- 3 市立体育館長寿命化について

質問1(1) 公共施設だけでなく、公共インフラも含めた「鈴鹿市の公共施設及びインフラ白書」の作成を、計画の文面に入れるべきではないか。

答弁1(1) 公共インフラも、計画的な建設や更新の必要性は認識しており、公共施設の建設、更新に係る費用の推計を行う際に、公共インフラの財政的なシミュレーションを行うよう検討したい。

質問1(2) 公共施設を全て維持か、再編・再配置を考えるのか、どちらなのか。

答弁1(2) 今後策定の公共施設マネジメント白書を基

に、市民や議会と検討、整理したいと考えている。

質問2(1) 地域医療に専門的に取り組む職員の配置を検討できるか。

答弁2(1) 地域医療を主たる業務としてとらえる職員について、調査研究し体制整備を図りたい。

質問2(2) オール鈴鹿市として全庁的に研修に取り組む、教育委員会もその様に取り組むことができるか。

答弁2(2) 全庁的に職員研修に取り組むなどしていきたい。教育委員会としても取り組むことを検討する。

質問3 市立体育館長寿命化の検討の際、副体育館を中学校体育館規模で再建するなど、継続的な施設利用を可能にしてはどうか。

答弁3 副体育館はいろいろな意見をもらっているが、今のままと考えている。

すずか倶楽部 鈴木 純 議員



- 1 重要案件への対応について
 - (1) 政策幹部会議の機能・役割
 - (2) 重要案件の報告・決裁基準
- 2 市民満足度を高める人材育成
 - (1) 総合的人事制度の進捗状況
 - (2) 人事評価制度の導入について
 - (3) 昇進システムについて

質問1(1) 鈴鹿パーキングエリアのスペース確保という重要案件は政策幹部会議に付議すべきでは。

答弁1(1) 庁内で関係部局が横断的に議論し、担当部局が判断し、庁内の所定の手続きを経て決定した。

質問1(2) 鈴鹿PAで市のスペース確保を断った件は、前市長へどのように報告と決裁がなされたか。

答弁1(2) 特に重要な事項として合議のうえ適正に決裁処理がされており、問題なかったものとする。

質問2(1) 平成18年から取り組んでいるが進捗状況は。

答弁2(1) まだまだ試行、検討段階のものもあるが職員の意見を聞き、効果的な制度として確立したい。

質問2(2) 過去6年間「試行」し、今後も3年間「試行」するが人材育成の観点から早急に実施すべき。

答弁2(2) 平成27年度を目途に全職員を対象に試行した後できるだけ早い時期を目指して取り組みたい。

質問2(3) 前例踏襲、事なかれ主義的体質の原因となっている年功序列的昇進システムの改善を求める。

答弁2(3) 年齢や採用の年次にとらわれることなく優秀な人材を積極的に昇任させる人事管理は喫緊の課題であり引き続き検討していく。

あくていぶ21 宮木 健 議員



- 1 金沢雨水幹線整備について
 - (1) 流域の現状について
 - (2) 工事の進捗について
 - (3) 神戸地区の整備について

質問1(1) 流域で浸水被害が発生しているが現状と今後への対策として調整池を確保できないのか。

答弁1(1) 昭和41年から進めてきた事業、河川改修事業を国から補助金、交付金、起債措置等の活用を含め有利な下水道事業に変えて整備。また、豪雨時に上流から金沢川へ流入する水量を軽減する為、調整池を設けることは有効な対策であり今後検討を進めていきたい。

質問1(2) 整備計画に対し、遅れはないのか。今後の工事の進捗、また計画を前倒しにできないのか。

答弁1(2) 第1期整備計画区間の進捗状況は計画通り推移しており、六郷川の合流地点までは平成27年度を目途に整備を進める。前倒しについては、農業用水の取水を行っている為、農繁期を終えた渇水期間で行うことを余儀なくされているので難しい。

質問1(3) 神戸地区の金沢川周辺の雨水対策事業は、どう進めるのか。

答弁1(3) 整備計画を年次的に進める必要があり来年度から神戸保育所横から神戸高校グラウンド方向に向かって整備する予定。



金沢川